

219-1953

日本組織培養学会

昭和61年6月20日

会員通信
第59号

発行責任者

沖垣 遼(重井研), 常盤孝義(岡山大・医)
三井洋可(微工研), 大野忠夫(放医研)
間中研一(独協医大), 喜多野征夫(阪大・医),
大島 裕(大阪歯大)
岡山市鹿田町2-5-1 (〒700)
岡山大・医・癌研病理
電話 0862-23-7151

§ 昭和61, 62年度幹事選挙の結果について

3月31日, 選挙管理委員奥村秀夫, 西 義介両幹事および立会人として山田堅一郎会員が国立予防衛生研究所で開票を行ない, 次のように新幹事を決定しました。なお, 投票総数は141票, 有効投票数は138票でした。

40才以上幹事

当 選 小 野 順 子(旧, 福岡大・医) 40票
(新, 大分医大)

" 蔵 本 博 行(北里大・医) 30票

" 加 治 和 彦(都老人研) 28票

" 乾 直 道(日本たばこ産業) 18票

次 点 小 山 秀 機(横浜市大) 16票

40才以下幹事

当 選 宮 崎 正 博(岡山大・医) 38票

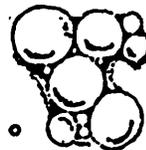
" 許 南 浩(東大・医科研) 36票

" 渡 辺 正 巳(金沢大・薬) 18票

" 間 中 研 一(独協医大) 16票

次 点 山 下 三 千 年(長崎大・医) 15票

(幹事選挙管理委員長 奥 村 秀 夫)



§ 日本組織培養学会第59回大会のご案内

第59回大会を下記スケジュール(概)により開催することになりましたのでご案内いたします。

世話人 奥村 秀夫(国立予研)

会 期：昭和61年7月13日(日)午後、14日(月)、15日(火)

会 場：私学会館

〒102 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL. (03)261-9921

講演会場：A会場(3F, 富士(東))

B会場(5F, 蔵王)

P会場(5F, 大雪)

展示会場及び休憩室：

3F, 富士(西)〔7月14日、15日〕

(ただし、7月13日の休憩室は7F, 松)

懇親会場：3F, 富士(東)

受 付：7月13日(日)午後12時30分～ 私学会館5F

7月14日(月)・15日(火)午前8時30分～ 私学会館3F

参加費：3,000円(会員)

4,500円(非会員)

抄録代：1,500円(非会員のみ)

懇親会費：4,000円

プログラム：

7月13日(日)

12:30～ 受付開始

13:30～13:35 開会の辞

13:35～17:40 ワークショップ “*In vitro*における超微形態” (P会場)

座長：野澤 志朗(慶応大・医)

永森 静志(慈恵医大)

1. ブタ皮膚を支持体とする各種上皮細胞の培養と培養細胞の電子顕微鏡的同定

吉田 豊, ほか(札医大)

2. ヒト食道癌培養細胞の加温による超微形態学的変化

唐木 芳昭, ほか(富山医薬大・医)

3. 成熟ラット肝細胞初代培養の電子顕微鏡学的研究

望月 洋一, ほか(札医大・癌研)

4. 子宮頸癌発生母細胞(“予備細胞”)の培養の試みとその問題点

野澤 志朗, ほか(慶応大・医)

5. 培養細胞の免疫電顕観察法

小松 遼至, ほか(東海大・医)

6. プラズマ重合膜レプリカ法と透過電顕によるヒト培養肝癌細胞の形態学的研究

筋野 甫, ほか(慈恵医大)

19:00~20:30 細胞株テーブルディスカッション (P会場)

司会: 佐藤 二郎(岡山大・医)

奥村 秀夫(国立予研)

7月14日(月)

8:30~ 受付

9:30~ 9:35 世話人挨拶

9:35~11:45 一般講演 演題番号: 7-11 (A会場)

10:00~11:45 一般講演 演題番号: 19-22 (B会場)

10:00~13:15 ポスターセッション 演題番号: 1-6 (P会場)

13:15~16:30 一般講演 演題番号: 12-18 (A会場)

13:15~16:30 一般講演 演題番号: 23-29 (B会場)

14:00~16:30 ワークショップ “無血清培養研究の展開” (P会場)

座長: 高木 良三郎(大分医大)

梅田 誠(横浜市大・木原研)

1. ヒト肝癌細胞の無血清合成培地培養を省みて

佐藤 二郎(岡山大・医)

2. 無血清, 無脂質培地で生育するP3細胞の性状

梅田 誠, ほか(横浜市大・木原研)

3. 肺腺ガンおよび核酸特異的ヒト型モノクローナル抗体を生産するヒト-ヒトハイブリドーマの無血清培養

橋爪 秀一, ほか(森永生科研)

4. ヒト・リンパ芽球様細胞の無血清培養における基本培地成分の検討

源 良樹, ほか(味の素・中研)

17:00~18:00 特別講演 “ヒト分化細胞の初代培養とその継代” (A会場)

—血清からの逃走—

演者: 山根 積(東北大名誉教授)

座長: 佐藤 二郎(岡山大・医)

18:30~20:30 懇親会

7月15日(火)

8:30~ 受付

9:00~11:45 ワークショップ “培養における線維芽細胞の特性” (P会場)

座長:加 治 和 彦(都老人研)

1. 生体内線維芽細胞の特性

向井万起男, ほか(慶応大・医)

2. *In vivo* 状態のモデル化による線維芽細胞の培養

吉里 勝利(北里大・医)

3. 培養ヒト線維芽細胞の Heterogeneity と組織特異性 — 主に Glucocorticoids を用いた研究より

近藤 吳(都老人研)

4. 培養における線維芽細胞の増殖特性

松村外志張(東大・医科研)

9:00~ 9:30 映画供覧〔学会編集〕 (A会場)

9:30~12:00 一般講演 演題番号: 30-35 (A会場)

13:00~13:30 総 会

13:30~16:30 ワークショップ “Current Status of Industrial Level Cell Culture System in U.S.A. and European Countries” (A会場)

座長:小 原 汎(山之内製薬)

古 沢 満(第一製薬)

1. Scale Up of Production and Purification of Monoclonal IgG and IgM

Katinger, H., et al. (Inst. Applied Microbiol., Australia)

2. Industrial Scale Production of Monoclonal Antibodies in Airlift Fermenters

Lambert, K. J., et al. (Celltech Ltd., U.K.)

3. Pharmaceutical Production of Biological Products Derived from Mammalian Cells

Rupp, R. G., et al. (Cell Biol. Invitron, U.S.A.)

4. Optimization Procedures for High Density Cell Culture in Acusyst - P Hollow Fiber Bioreactors

Gruenberg, M. L. (Endotronics, Inc., U.S.A.)

16:30 閉会の辞

(注) 抄録集〔組織培養研究 Vol. 5(1)〕は7月初めに送付予定です。詳細は抄録集を参照して下さい。

§ Post -Doc. Position

NIH・国立環境保健科学研究所のDr. J. Carl Barrettが下記のように Postdoctoral Fellowと Senior Scientist を求めています。興味のある方は履歴書と推薦状を添えて直接彼または当方にご連絡下さい。

The Laboratory of Dr. J. Carl Barrett (National Institute of Environmental Health Sciences, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.) is seeking 1 or 2 individuals for studies of oncogenes and tumor suppressor genes in chemically induced neoplastic transformation. The positions are for 2-4 years and individuals with experience in somatic cell genetics, growth factors, differentiation or molecular biology are encouraged to apply. Please send curriculum vitae and letters of recommendation to:

Dr. J. Carl Barrett
Group Leader, Environmental Carcinogenesis
National Institute of Environmental Health Sciences
P. O. Box 12233
Research Triangle Park, NC 27709
U.S.A.

連絡先：〒102 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学薬理学教室
筒井健機
電話 03-261-8311 内線 288

§ 編集後記

会員通信春号をお送りいたします。新幹事が選出され、会員通信も次号からは新たなスタッフによって編集されるものと思います。これ迄記事をお寄せいただいた先生方に深く感謝いたしますとともに、会員の皆様の本通信への引き続きご協力、ご援助をお願い申し上げます。

(T)